

見前地区

～SOSからはじまったゴミ出し支援～

令和元年7月3日



高齢者人口と高齢化率

平成31年3月31日現在

地区名	総人口	65歳以上人口	高齢化率	世帯数
盛岡市	288,816人	78,131人	27.0%	135,341世帯
都南圏域全体	50,603人	12,564人	24.8%	22,016世帯
見前地区	14,903人	3,604人	24.1%	6,556世帯
津志田地区	10,148人	2,009人	19.7%	4,783世帯
乙部地区	7,607人	2,334人	30.6%	3,114世帯
飯岡地区	9,583人	2,500人	26.0%	3,893世帯
永井地区	8,362人	2,117人	25.3%	3,670世帯

ゴミ出し支援を考えるに至った経緯

- 平成29年度に見前地区在住の高齢者のごみ出し支援についての相談が地域の介護支援専門員より寄せられた。

西見前地区三二地域ケア会議

★2階以上に住んでいる高齢者のゴミ出し支援について情報共有とグループワークを行った。

- ①ごみ集積状況の確認
- ②高齢者支援の実情
- ③町内会でできること



三本柳西地区ミニ地域ケア会議

★資源ゴミを捨てることが難しい高齢者のゴミ出し支援について情報共有とグループワークを行った。

- ①ごみ集積状況の確認
- ②子供会や老人クラブ、ボランティアグループ等の役割や活動状況の確認
- ③町内会でできること



2 地区のミニ地域ケア会議を終えて・・・

➤福祉推進会より

二つの地区で出された課題から、見前地区全体でゴミ出しについてアンケート調査を実施し実態把握に努めるべきと提案を受けた。

➤アンケート実施にあたり

「盛岡市地域包括ケアシステム構築推進事業」の補助金申請を行う。→承認された。

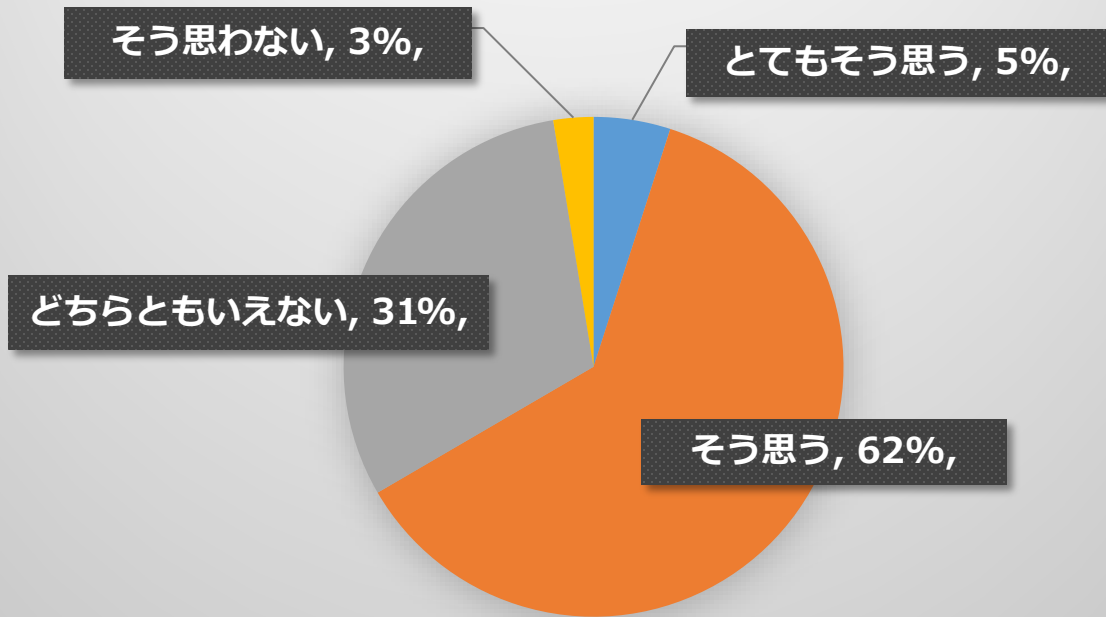
見前地区地域ケア会議

➤参加者で見前地区におけるゴミ出し支援の課題の共通認識を図り、地域におけるゴミ出し支援の仕組みづくりの検討。

- ①西見前地区と三本柳西地区のミニ地域ケア会議の報告
- ②都南地区の介護支援専門員に実施したゴミ出し支援に関する意識調査アンケート報告
- ③町内会でできること

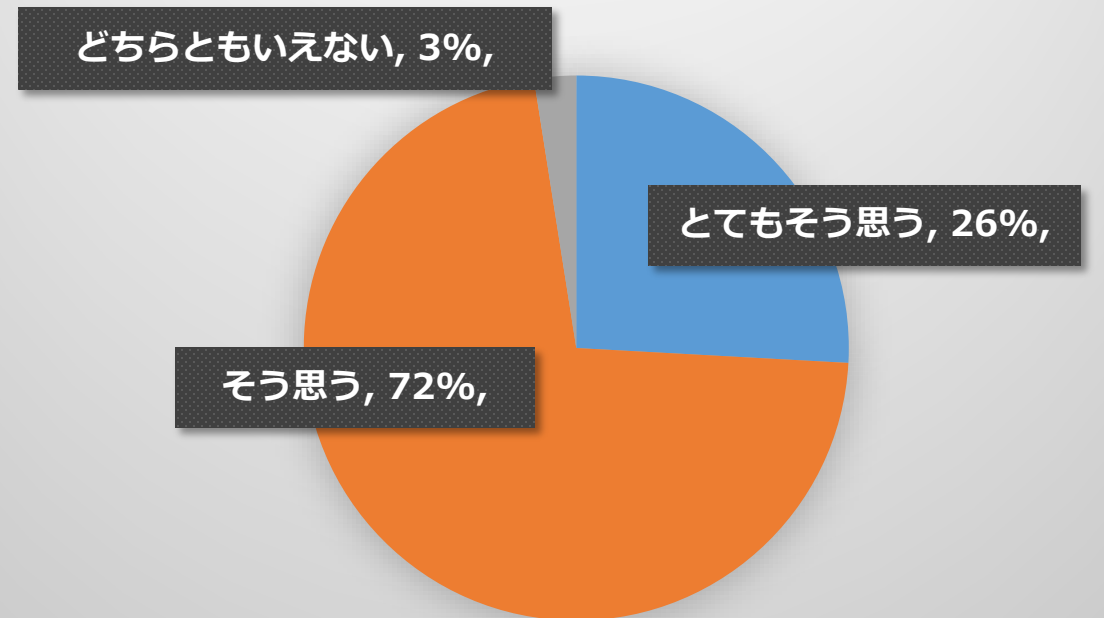
都南地区の介護支援専門員に実施した ゴミ出し支援に関する意識調査アンケート

質問1：今現在ごみ出しに困難を抱えている高齢者が多くいる



■ とてもそう思う ■ そう思う ■ どちらともいえない
■ そう思わない ■ 全くそう思わない

質問2：今後、ごみ出しが困難になる高齢者が増えると思うか



■ とてもそう思う ■ そう思う ■ どちらともいえない
■ そう思わない ■ 全くそう思わない

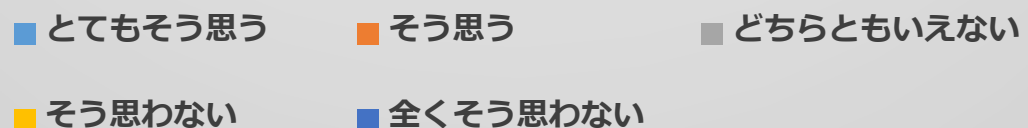
質問3：ごみ出しが困難になった高齢者の支援は自治体が行き組む

どちらともいえない, 13%,

そう思わない, 3%,

とてもそう思う, 36%,

そう思う, 49%,



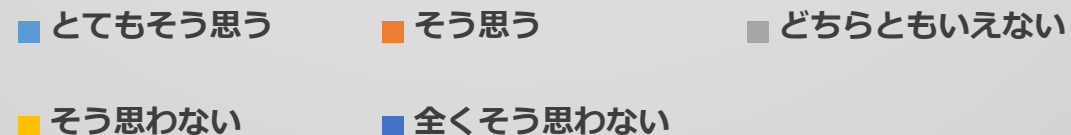
質問4：ごみ出しが困難な高齢者への支援は優先順位が高い課題

そう思わない, 21%,

とてもそう思う, 10%,

どちらともいえない, 13%,

そう思う, 67%,



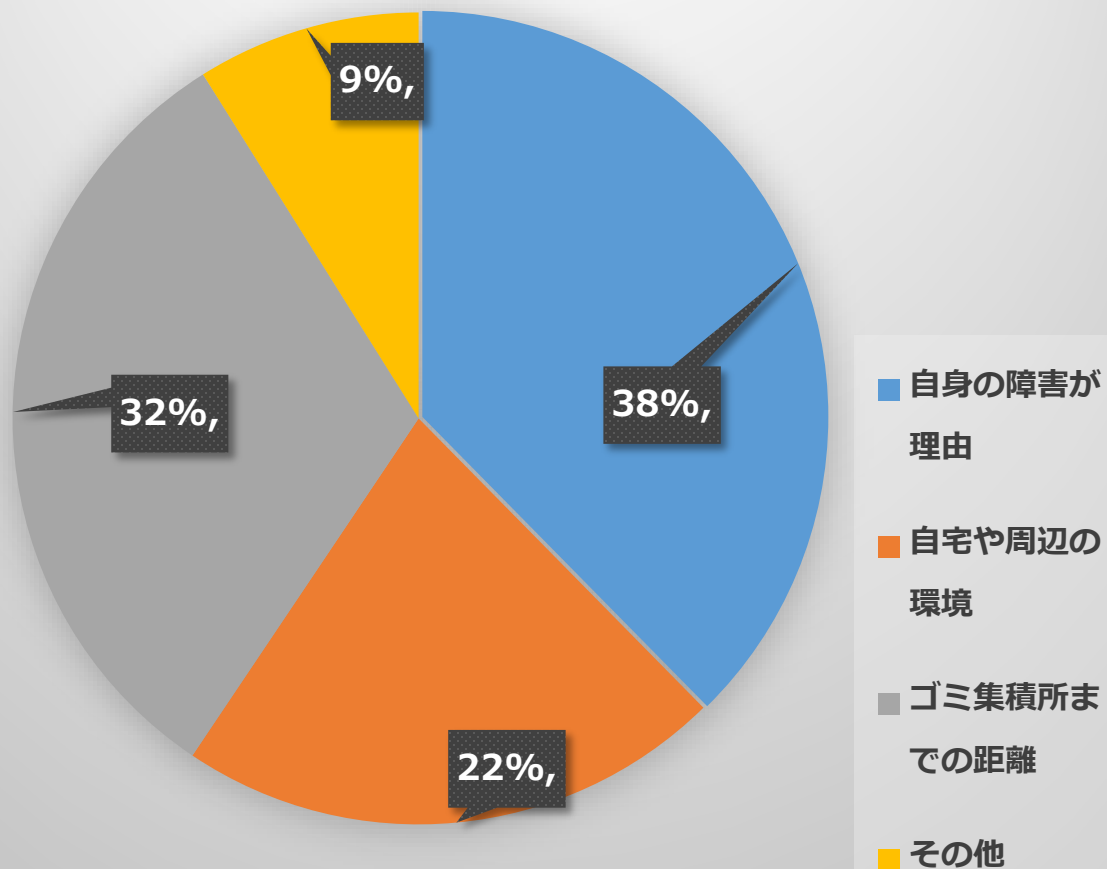
質問5：担当している高齢者がごみ出しをして転倒やけがをしそうになった事がある。

あると回答。24人が転倒している。

男性11人 女性13人

介護度別	要支援1	4人
	要支援2	6人
	要介護1	7人
	要介護2	4人
	要介護3	1人
	要介護4	1人
	未認定	1人

転倒理由



その他の理由：

- ごみ袋が大きくなったためふらついた
- ごみ袋が重かったため
- 杖を使用し袋を持っていたためふらついた
- 麻痺ではなく筋力が低下したため

こんなことが課題

【1：コミュニケーション関係】

- 町内会、近くのつながり、顔見知りでないとなかなか支援できない
- アパートの人は自治会に参加せず実態がよく分からない
- 高齢者の意識として人に迷惑をかけたくない人が多い
- 高齢者や支援を必要とする人の方が、心を許して頼みたいと声に出して欲しい

【2：トラブル関係】

- 物を取られたと言われると困るから複数人で行かなければならない
- 自宅の中に入って支援することは難しい

こんなことが課題

【3：支援関係】

- ごみ収集所のルールを柔軟にする必要もある（時間の融通等）
- ごみ捨てが大変な人たちをどのように把握するかが課題
- 生ごみは頼みづらい
- 中学生にボランティア活動の依頼ができないか

町内会で出来る事

【1：町内会役員的心しておくこと】

- 総会などでも話題として話す
- 「助けて」と言えない高齢者には町内会などの役員が声掛けする
- 声を出してもらえれば班や役員会で考える機会が生まれる全体の理解が得られるように図れる
- 区を超えて捨てられるか、町内会同士で話し合いができるような土壌が必要
- 町内会だけでなく、行政も参加し同じ方向性で支援できるようにしたい

町内会で出来る事

【2：近隣同士の交流】

- 将来を見据えて今から班長さんに相談しておく必要がある
- 今から頼める雰囲気、近所付き合いをしておく必要がある
- 玄関までごみを出してもらえれば支援できると思う
- 地域のコミュニケーションを良くして助け合えるのではないか。
隣近所との交流を持ち支援依頼ができるとうい
- 「地域の御用聞き」みたいな仕組みができればよい

行政に求める事

- 8：00までに出すルールをもう少し緩めてみてはどうか？9：30までとするなど
- 中学校へ奉仕活動として検討して欲しい旨を呼び掛けて欲しい
- スtockヤードの大型化、または増設して欲しい
- 行政が責任を持ち有料で資源ごみを回収する方法はないのか（玄関口までの回収）
- 有料ゴミ出し支援の制度化
- 困っている人の情報が共有できるような仕組みがあればいい
- 盛岡市のゴミ捨て支援、ゴミ出しサポート事業を都南でも実施して欲しい

地域ケア会議を終えて・・・ 今後見前地区が目指したい姿

- 気軽にゴミが捨てられるような仕組みのある町内会を目指す。
- 困っている高齢者が声を上げやすい・相談しやすい町内会づくり。
- 特定の人困り事でも、町内会で解決する雰囲気。
- 子供会や中学生育成部にも参加してもらいたい地区全体で支援を検討できる具体的な仕組みがある。
- 住民と行政が共同で参画できるゴミ捨て支援。

見前地区 ゴミ出し支援プロジェクトを立ち上げる

構成メンバー

見前地域代表	福祉推進会役員 民生児童委員 シルバーメイト
オブザーバー	岩手県立大学 盛岡市長寿社会課 第1層生活支援コーディネーター
地域包括支援センター 介護支援センター	

見前地区ゴミ出し支援プロジェクト

アンケート調査項目検討・
困難事例検討グループ

訪問調査グループ

見前地区ゴミ出し支援拡大
プロジェクト会議

モデル事業グループ

ボランティアサロン
グループ

見前地区ゴミ出し支援プロジェクト

① アンケート調査項目検討・困難事例検討グループ

- 岩手県立大学や社会福祉協議会と協同で検討する。
 - ・ アンケート内容
 - ・ 困難事例（いわゆるごみ屋敷など）
など

見前地区ゴミ出し支援プロジェクト

② 訪問調査グループ

「ごみ出し」に関する訪問調査 ご協力をお願い

見前地区の皆さまが、どのようにごみ出しをしているか5分程度の質問をさせていただきます。

調査結果は「ごみ出し支援」の仕組みづくりに役立てさせていただきます。訪問調査にご理解・ご協力をお願いいたします。

訪問日： 月 日 時

問い合わせ先

地域包括支援センター川久保

☎ 019-635-1682

担当：大友・中居・照井

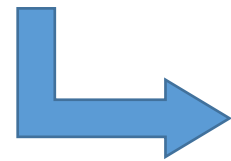
		スタッフ記入欄
1	担当民生委員氏名	
2	町内会名	
3	住所	
4	電話番号	(追加問い合わせOKの場合のみ聞く！)
5	世帯の状況	独居・高齢夫婦・子と同居・3世代以上 その他
6	家屋の状況	持ち家・借家・アパート(F) マンション(F)・その他
7	自宅内の環境レベル	1・2・3・4・5 6・7・8・9・判断不能
8	身体状況	独歩・歩行支援用具を使用する・歩行が困難
9	介護保険の利用について	有・無
	担当介護支援専門員	
	居宅介護支援事業所	
10	将来リスク	あり・なし

訪問調査アンケート用紙		訪問日 年 月 日/訪問者
1	氏名	
2	性別・年齢	男・女 / 歳
3	ゴミ出しに関する訪問調査に	同意します ・ 同意しません
4	どのような方法で外出しますか？(複数回答可)	徒歩・自転車・バイク・車(自分で運転)・車(家族等が運転) タクシー・バス・電車・その他()
5	ゴミ出し担当は誰ですか？	
6	集積所までの距離	500m以下・500m~1km・1km以上
7	支援者はいますか？	いる → 家族()・近所の人・ヘルパー()・その他 来訪頻度： いない → どのようにしていますか？
8	ゴミを出せないことはありますか？	ある → 理由(複数回答可) 1 曜日が分からない 2 分別が分からない 3 回収時間に間に合わない 4 身体的な事情で運搬できない 5 おっくうに感じる 6 その他 ない → 大変さを感じますか？(複数回答可) → はい・いいえ 1 出す曜日が決まっていて大変 2 分別が大変 3 回収時間に出すのが大変 4 身体的な事情で運搬が大変 5 おっくうに感じる 6 その他
9	支援の仕組み(有料ボランティア等)があったら利用しますか？	する → 現状について話し合いの場があったら → 参加可・不可 しない → 理由(複数回答可) 1 ゴミを見られたくない 2 家に人が入るのが嫌 3 人に迷惑をかけたくない 4 一人ができる 5 その他

見前地区ゴミ出し支援プロジェクト

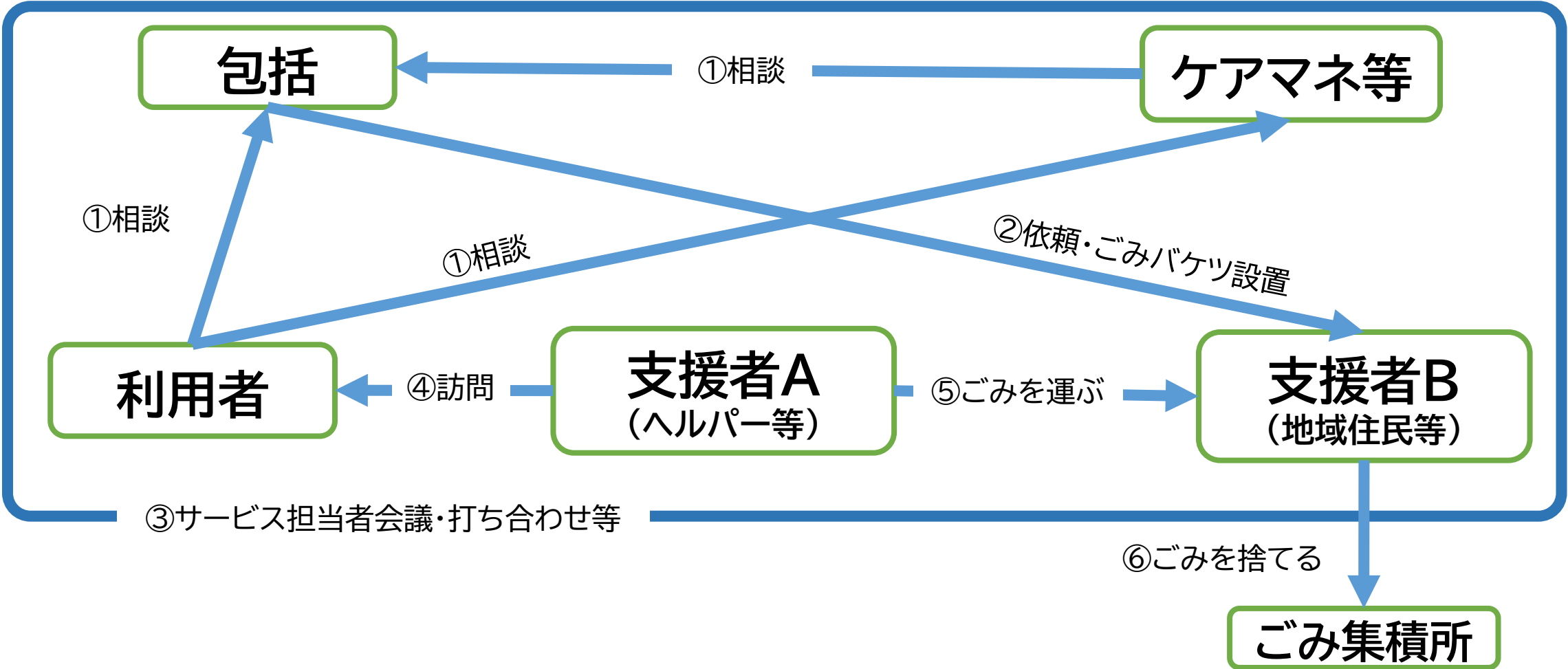
③モデル事業グループ

- 利用者
分別・まとめ・運搬等が困難でゴミ出しができない
- ヘルパー
ゴミ出し時間に間に合う時間に調整が難しい
- 地域の支援者
直接利用者の家まで行って支援するのは難しい



三者の問題を解決！！

モデル事業の流れ



モデル事業の実績づくり

- 「困っている人」と「支援者」とのマッチング
- 「支援者」の条件を決める
 - ・ 「支援者」宅に専用ごみバケツを置き、自分のごみ捨てのタイミングで捨ててもらう。
 - ・ ヘルパーにごみをまとめてもらい、「支援者」宅の専用ごみバケツに入れる。
 - ・ 専用ごみバケツの購入・設置



モデル事業の課題

- なかなか地域の支援者が見つからないこと
- 生ごみの臭い対策
- 今年度中にあと9事例実施



見前地区ゴミ出し支援プロジェクト

④ ボランティアサロングループ

- 本人ミーティングやシルバーメイトとの意見交換会を、今秋を目標に開催予定。



見前地区ゴミ出し支援プロジェクトの 今後の展開

- 地域包括ケアシステム構築に向け、岩手県立大学や地域住民、行政等と一緒に仕組みづくりを実践していく予定。
- プロジェクト内の4グループでの活動を実施していく。

住民参加型の

都南圏域版

「ゴミ出しサポート事業」

を目指す。